

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	麻倉で芸術に親しむ事業
事業主体 (連絡先)	麻倉 Arts&Crafts 0261-85-2139
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,553,534 円 (うち支援金 : 1,138,000 円)

事業内容

年間を通して多くの美術やクラフト、音楽演劇といったイベントや展覧会、ワークショップを行った。美術では麻倉美術部作家展、6月の海展、アンデパンダン展、早くこいこいお正月展、クラフトでは北アルプスクラフト作家展、酒器展。音楽：第11回、12回麻倉音楽会、第1回、2回麻倉歌声茶会。演劇は演劇上演とワークショップ。冊子製作。



【第3回アンデパンダン展】

【目標・ねらい】

- ①各事業5%の参加者、入場者の増加
- ②各事業内容の充実
- ③様々な世代の参加を得る

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

それぞれの美術、クラフト展示会は、約300～400名の入場者があった。ワークショップは作家によっても内容によっても異なるが約5～40名である。すべての取り組みで参加者の増加とまでは行かず残念だったが、麻倉を訪れる人の数は確実に増えている。

麻倉というところがあって何か面白いことをやっているらしいという話が浸透しつつあるようだ。お腹の膨れない芸術だけど、心を豊かにしてくれるものであることを今後も伝えていきたい。

※自己評価【 A 】

【理由】

全体として企画イベントの入場者数、ワークショップの参加者が増えた。特にアンデパンダン展においては出点数が101点と地域の公募展として認知されてきた。年間を通しての麻倉の様々な事業は他では、見られない事業と思われる。ボランティアスタッフの努力で支えられているが、スタッフの成長も高く評価したい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

市民が芸術に関心を持ち生活の中により取り込み、さらに自身が表現始めるといった人達が一層増えることが目標だ。不況の折には一番に切り捨てられる分野でもあり、市民により関心を持ってもらい参加したくなるような質の高い美術展や音楽会、ワークショップに取り組んでいきたい。さらに、昼間のワークショップだけでは働く若い世代には参加できないという問題があり、夜のワークショップも取り組み始めている。麻倉の取り組みは、年間を通してのもので日々継続しており事業効果に一喜一憂する日々である。企画運営する人材の若返りを図りたいが、仕事が忙しくなかなか時間の取れない人が多く厳しい面がある。芸術活動という経済活動ではない私たちの取り組みは一定の成果は上げてきたと思うが、今、準備を進めているクラウドファンディングなどを活用したりすることで支援者を増やしたり、また、自己資金の確保も重要と考えている。